

安全データシート

アクリルアミド

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: アクリルアミド
CB番号	: CB4690458
CAS	: 79-06-1
EINECS番号	: 201-173-7
同義語	: アクリルアミド, アクリルアマイド

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 紙力増強剤・凝集剤重合原料、繊維加工剤、接着剤性能向上加工剤、化粧品原料、アクリル系熱硬化性塗料合成原料 / 凝集剤・土壌改良剤・紙力増強剤・接着剤原料 (NITE-CHRPより引用)
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 010-86108875

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

- 急性毒性, 経口 (区分3), H301
- 急性毒性, 経皮 (区分4), H312
- 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分2A), H319
- 生殖細胞変異原性 (区分1B), H340
- 発がん性 (区分1B), H350
- 生殖毒性 (区分2), H361
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露), 経口 (区分1), 末梢神経系, H372
- 水生環境有害性 短期 (急性) (区分3), H402
- このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。
- 皮膚感作性 (区分1), H317
- 皮膚腐食性 / 刺激性 (区分2), H315
- 急性毒性, 吸入 (区分4), H332

2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

絵表示

GHS06	GHS08
-------	-------

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H301 飲み込むと有毒。

H312 + H332 皮膚に接触した場合や吸入した場合は有害。

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H319 強い眼刺激。

H350 発がんのおそれ。

H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

H402 水生生物に有害。

H372 反復してあるいは長期にわたり飲み込んだ場合、又は反復暴露による臓器 (末梢神経系) の障害。

H340 遺伝性疾患のおそれ。

H315 皮膚刺激。

注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P260 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。

応急措置

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。専門的な使用者に限定。

P301 + P330 + P331 + P310 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

2.3 他の危険有害性

なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: Acrylic acid amide 2-Propenamide
化学特性(示性式、構造式 等)	: C ₃ H ₅ NO
分子量	: 71.08 g/mol
CAS番号	: 79-06-1
EC番号	: 201-173-7
化審法官報公示番号	: 2-1014
安衛法官報公示番号	: -

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

医師に相談する。この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所に移す。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。医師に相談する。

皮膚に付着した場合

石けんと多量の水で洗い流す。直ちに被災者を病院に連れて行く。医師に相談する。

眼に入った場合

多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。口を水ですすぐ。医師に相談する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

窒素酸化物(NOx)

可燃性。

5.3 消防士へのアドバイス

消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

5.4 詳細情報

データなし

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

呼吸保護（服）を着用。粉じんの発生を避ける。蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。十分な換気を確保する。安全な場所に避難する。粉じんを吸い込まないよう留意。個人保護については項目 8 を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。環境への放出は必ず避けなければならない。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。掃いてシャベルですくい取る。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項

皮膚や眼への接触を避けること。粉じんやエアゾルを発生させない。安全取扱注意事項曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。

火災及び爆発の予防

粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

衛生対策

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。注意事項は項目2.2を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 6.1D: 不燃性、急性毒性カテゴリ3 / 毒性危険物または慢性効果を引き起こす危険物

保管条件

冷所に保管。容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。保管安定性推奨された保管温度2 - 8 °C光に敏感である。不活性ガス下に貯蔵する。

7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

ACL: 0.1 mg/m³ - 作業環境評価基準、健康障害防止指

TWA: 0.03 mg/m³ - 米国。ACGIH限界閾値 (TLV)

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

保護具

眼 / 顔面の保護

顔面シールドおよび保護メガネ NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。

皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。（手袋外面に触れずに）適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

データソース: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, 電話 +49 (0)6659 87300, e-mail sales@kcl.de,

試験方法: EN374

EN374とは違った条件の下で、溶液の中、または他の物質と混ぜて使われる場合は、EC認可手袋の供給業者に問い合わせる。この勧告は単なる助言であり、予想される用途の特定状況に精通した産業衛生専門家並びに安全管理者により評価されなければならない。任意の使用方法について許可を受けていると理解すべきではない。

身体のプロテクト

化学防護服, 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、N100型 (US) またはP3型 (EN 143) 呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH (US) またはCEN (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

環境暴露の制御

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。環境への放出は必ず避けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

外観	形状: 固体
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	5.2 - 6 at 500 grm/l
融点 / 凝固点	融点/ 範囲: 83 - 87 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	125 °C at 33 hPa - lit.

引火点	138 °C - 密閉式引火点試験
蒸発速度	データなし
可燃性（固体、気体）	データなし
引火上限/下限または爆発限界	データなし
蒸気圧	1.6 mmHg at 84.50 °C0.03 mmHg at 40 °C0.0675 mmHg at 25 °C
蒸気密度	2.45 - （空気=1.0）
密度	データなし
比重	データなし
水溶性	200 grm/l at 20 °C
n-オクタノール / 水分配係数（log 値）	log Pow: -0.67
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	動粘度（動粘性率）：データなし 粘度(粘性率): データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
相対ガス密度	2.45- （空気=1.0）

9.2 その他の安全情報

相対ガス密度

2.45- （空気=1.0）

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

データなし

10.2 化学的安定性

推奨保管条件下では安定。

10.3 危険有害反応可能性

データなし

10.4 避けるべき条件

データなし

10.5 混触危険物質

酸類, 酸化剤, 鉄および鉄塩。 , 銅, 黄銅, フリーラジカル開始剤

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性

(OECD 試験ガイドライン 402)

備考: (規則 (EC) No 1272/2008, Annex VI)

急性毒性推定値: 吸入 - 1.6 mg/l

(専門家の判断)

LD50 経皮 - ウサギ - オスおよびメス - 1,141 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 401)

LD50 経口 - ラット - メス - 177 mg/kg

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚刺激。 (規則 (EC) No 1272/2008, Annex VI)

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

(OECD 試験ガイドライン 405)

(規則 (EC) No 1272/2008, Annex VI)

結果: 眼への刺激 - 24 h

眼 - ウサギ

呼吸器感作性又は皮膚感作性

マキシマイゼーション試験 - モルモット

(OECD 試験ガイドライン 406)

備考: (規則 (EC) No 1272/2008, Annex VI)

結果: 陽性

生殖細胞変異原性

遺伝性疾患のおそれ。

試験タイプ: Ames 試験

テストシステム: *Salmonella typhimurium*

方法: OECD 試験ガイドライン 471

結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験

テストシステム: チャイニーズハムスター肺細胞

代謝活性化: 代謝活性化なし

方法: OECD 試験ガイドライン 473

結果: 陽性

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

結果: 陰性

試験タイプ: 優性致死試験

投与経路: 経口

方法: OECD 試験ガイドライン 478

結果: 陽性

種: ラット

方法: OECD 試験ガイドライン 476

テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

発がん性

データなし

生殖毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

経口 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 - 末梢神経系

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

生殖能への悪影響のおそれの疑い。

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

RTECS: AS3325000

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

肝臓 - 便秘 - ヒトの証拠に基づく

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経口 - 2 年 - 無毒性レベル - 0.5 mg/kg

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

止水式試験 LC50 - *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス) - 180 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 203)

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

流水式試験 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 98 mg/l - 48 h

椎動物に対する毒性

(US-EPA)

藻類に対する毒性

止水式試験 最大無影響濃度 - *Pseudokirchneriella subcapitata* - 56 mg/l - 72

h

(OECD 試験ガイドライン 201)

微生物毒性

EC50 - *Photobacterium phosphoreum* (フォトバクテリウム - ホスホレウム) -

13,500 mg/l

備考: (IUCLID)

12.2 残留性・分解性

生分解性

好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 100 % - 易分解性。

(OECD 試験ガイドライン 301D)

12.3 生体蓄積性

生物濃縮因子 (BCF) : 1.65

- 0.71 mg/l(アクリルアミド)

生体蓄積性 Oncorhynchus mykiss (ニジマス) - 72 h

12.4 土壌中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

免許を有する廃棄物処理業者に、余剰物で再使用不可の溶液として処理を依頼する。可燃性溶剤に溶解または混合し、アフターバーナーとスクラバーが備えられた化学焼却炉で焼却する。汚染容器及び包装製品入り容器と同様に処分する。

14. 輸送上の注意

14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制) : 2074 IMDG (海上規制) : 2074 IATA-DGR (航空規制) : 2074

14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制) : ACRYLAMIDE, SOLID

IMDG (海上規制) : ACRYLAMIDE, SOLID

IATA-DGR (航空規制) : Acrylamide, solid

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制) : 6.1 IMDG (海上規制) : 6.1 IATA-DGR (航空規制) : 6.1

14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制) : III IMDG (海上規制) : III IATA-DGR (航空規制) : III

14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制) : 非該当
非該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

酸類, 酸化剤, 鉄および鉄塩。 , 銅, 黄銅, フリーラジカル開始剤

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防活動阻害物質 貯蔵等の届出を要する物質:

アクリルアミド

消防法:

危険物に該当しない。

毒物及び劇物取締法:

劇物 - アクリルアミド

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

第二類物質 - アクリルアミド

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

法第57条 (施行令第18条) - アクリルアミド

名称等を通知すべき危険物及び有害物:

法第57条の2 (施行令別表第9) - アクリルアミド

化学物質排出把握管理促進法:

第1種指定化学物質 - アクリルアミド

化審法

優先評価化学物質

16. その他の情報

略語と頭字語

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

LD50: 致死量 50%

IATA: 国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法（化審法）<https://www.env.go.jp>

- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>
pageID=0&request_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。